



補正予算	2～3
予算特別委員会	4～6
決算特別委員会	7
一般質問	8～11
常任委員会	12～14
議員としゃべっぺ	15

補正予算は3億6千万円 (追加補正含め)

26年度決算純繰越は9億3千万円

ふるさと納税寄付金は1億2千万円増

9月 定例会

補正予算の特徴

◎財政調整基金積立に1億1,236万円プラス

補正予算は最終日の追加補正を含め3億6,870万円余り増え、補正後の一般会計予算総額は約145億1,700万円。

9月末現在の財政調整積立金残高は約6億円。

◎26年度一般会計実質収支額（純繰越額）は前年度より、3億6,100万円増加した。

◎ふるさと納税寄付金の総額は1億9,300万円の見込 注目する事業は次頁参照

9月定例会は9月2日～18日まで開催した。
報告は文化会館の予算継続費の精算と南陽市
財政の健全化比率の2件、諮問は任期満了に伴う
人権擁護委員候補者の推薦1件、条例いわゆるマ
イナバー法関係など5件、補正予算案6件、決
算認定9件の計23案件を全て承認、可決した。
最終日に上程された同意教育長及び教育委員
の任命2件に同意、請願1件の採択と追加補正予
算案1件、条例・その他1件を可決した。
一般質問は7名の議員が2日間にわたり行った。
予算特別委員会では「議員としゃべっぺ」で市民
からお聞きした課題なども取り上げて当局の考え
をたどした。



一般質問者の主な内容

9月30日で任期満了
となる教育長に猪野
忠氏（再）、教育委員
山岸俊道氏（新）を
同意。
教育委員会構成
教育長 猪野 忠
教育委員 加藤正人
教育委員 小関文典
教育委員 佐藤朋子
教育委員 山岸俊道

3日は5人、4日は
2人計7人が一般質問
を行った。詳しくは8
～11頁を参照。
片平 志朗 議員
・白竜湖の環境保全
・建設業就労者の育成
と支援
高橋 一司 議員
・消防団員の待遇改善
・文化会館に訪れる方
の対応
山口 正雄 議員
・除雪全般



・向山ソフトボール球
場関連の整備
高橋 一郎 議員
・平和と愛と縁結び
文化創生の南陽市
嘱託職員、臨時職員
の待遇改善
白鳥 雅巳 議員
・災害時応援協定及び
友好都市構想
・有害鳥獣被害の現状
及び対応
田中 貞一 議員

・昨年9月定例会の答
弁に対する結果
・白竜湖を含む農業用
ため池の状況悪化
・農業政策全般
・冬季除排雪
佐藤 明 議員
・今後の市政運営
・未来戦略アドバイ
ザーの具体的助言は
・地方創生
・企業誘致

常任委員会付託審査

総務常任委員会

いわゆるマイナ
ンバー法に関連する条例
案2件、赤湯財産区温
泉条例改正案を審査し、
3議案とも可決した。
文教厚生常任委員会
いわゆるマイナ
ンバー法に関連する条例
に伴う通知書及びカー
ド発行手数料を新設。
審査の結果可決した。

産業建設常任委員会 付託請願

・TPP交渉にかかる
国会決議の実現に関
する意見書提出の請
願は審議の結果採択
し、意見書を政府機
関に提出。
・土平地区の飲料水施
設解体に伴う条例の
廃止は審査の結果可
決した。
詳しくは12～14頁を

中学生地域間交流セミナー補助金

200万円

沖縄県糸満市議会と本市議会の交流から当局へ働きかけ、昨年までの海外交流セミナーの延長。本市中学生に平和の尊さの実感、更に、地元中学生との交流を通して郷土愛などの高揚を目的とした体験型学習への補助。

消防団装備（消防機材）事業費

116万円

水利のない山林で火災が発生した時に、初期消火や残火処理、延焼防止活動を行う際に使用する「ジェットシューター（背負式消火水のう）」40基を消防団に配置するもの。



27年度
一般会計補正予算

3億6,870万円 ここに 注目★

本市出身の童謡作家である「結城よしを」を讃え、歌い継いでいく「全国ないしょ話童謡祭」開催に助成するもの。（12月20日開催）

芸術文化市民活動支援補助金

180万円

烏帽子山公園観光売店は、築約50年以上経過しており、老朽化が著しく、観光客及び市民の方の安全を確保するため、観光売店を解体するもの。解体後、安全柵を設置する。

203万円

烏帽子山公園観光売店解体費

雪押し場として利用するため、使用していない旧宮内桐町医師住宅2棟の解体工事費。桐町地区の冬季道路状況改善に大いに効果が期待できる。

410万円

旧宮内桐町医師住宅解体費

その他の主な事業

☆財政調整基金積立金	1億1,236万円
☆地域振興基金積立金	4,491万円
☆ふるさと納税返礼品	7,708万円
☆市道維持管理委託料	1,000万円
☆小中学校施設整備費	583万円
☆土平飲料水供給施設解体工事費	250万円
☆財産区特別会計繰出金 （ハイジアパーク二色根源泉湯管取換等工事）	1,330万円

地域経済循環創造事業補助金

4,000万円

民間事業者が事業立ち上げ段階での初期投資額について補助を行うもの。

地域資源を活用して、先進的で持続可能な事業化取組を促進し、地域経済循環創造が目的。

今回は、木質バイオマス燃料製造及び異業種連携による循環型地域資源有効活用システムの構築事業に補助するもの。（国からの交付金）

補正予算 Q & A

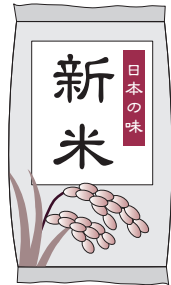
佐藤 明 議員

◎マイナンバー法は情報もれの心配がある。システムで漏れた場合は誰が責任をとるのか。

〈みらい戦略課長〉 国の制度なので基本は国だが、操作は市で行うので操作過程では一概には言えない。

◎アメリカでは1千万件の情報漏えいがあった。会社の導入も進んでいない。導入経費の助成はあるのか。

〈みらい戦略課長〉 助成制度は聞いていない。
◎10月通知、1月公布で個人情報財産管理はできるのか。



〈市長〉 マイナンバーの利便性は共感できる。ヒューマンエラーもないようにしっかりと対処し進めていきたい。

関連 高橋一郎 議員

◎1千万円の導入補助金の減額で市の持ち出しはないのか。

〈みらい戦略課長〉 現時点ではある。28年度も続くので増額要望する。

松山 利美 議員

◎ふるさと納税の現状と推移は。

〈みらい戦略課長〉 8月31日現在で申込みは7069件、1.1億円超でさくらんぼ、ぶどう、オーダーメイドの靴も増えた。10月は新米の募集で増を見込む。

◎新米の準備と対応は万全か。

〈みらい戦略課長〉 農協と綿密に打ち合わせ、目玉のはえぬき20kgを主として取り組みたい。
◎品切れなくすには直接農家との交渉必要。

〈みらい戦略課長〉 南陽市のお墨付きで責任もあるが、意欲のある方を求めている。

◎道路維持管理の1000万円は何に。

〈建設課長〉 やさしい除雪のための準備など。
高橋 篤 議員

◎烏帽子山公園の桜の開花は年によって違う。肥培管理の対策は。

〈建設課長〉 樹木匠と相談しながら施肥量を決め、千本桜保存会や委託業者が行っている。
◎桜の剪定を果樹農家のボランティアで行うよう要望する。

片平 志朗 議員

◎赤湯駅から文化会館への案内看板は。

〈文化会館主幹〉 市役所南にあることがわかるようなロゴと、観光協会にチラシを置く。
◎朝の駅前の混雑解消をどうするか。

〈商工観光課長〉 通勤通学時間帯は交通誘導をし、売店への納入はその時間帯を避けていただくよう話をする。

◎駅イベント広場を駐車場やタクシー待機場など有効活用を。

〈建設課長〉 ロータリー広場は、四季ふれあい広場として活用してもらいたい。

◎ロータリーへ入りにくいので、改善を要望する。

◎駅前にぶどう棚を果樹PRとして設置を。
〈建設課長〉 苗木1本

あたり10㎡必要で、藤棚のスペースでは困難。手間隙も多くかかる。



赤湯駅前の藤棚

の蓋が破損している。改善を求める。

〈建設課長〉 現地を確認する。駅郊外の点字ブロックは県に要望する。
◎赤湯古堤に休憩所、トイレ、足湯等の設置を求める。

〈商工観光課長〉 トイレと足湯は困難。ベンチは現状を活用願いたい。
◎観光協会から観光全般に要望が出ている。今後の施策は。

〈商工観光課長〉 北陸新幹線開通の影響はさほどでない。来春開通の北海道新幹線や5年後の東京オリンピックの誘客は観光協会、旅館組合と協議していく。

観光客数は旅館宿泊者の把握からはじめる。

〈市長〉 インターネットの活用、地方創生からも観光は重要。関係機関と協議して振興を図っていく。

高橋 一司 議員

◎町の観光案内板が不足だ。設置を求める。

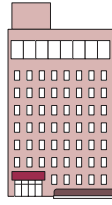
〈商工観光課長〉 観光協会等と協議をして年次計画で考えたい。

◎点字ブロックや側溝

高橋 弘議員

◎ビジネスホテルの需要があるが、企業誘致でできないか。

◎市長 二ーズはある。一方、温泉旅館も工夫している。文化会館とより良い方向を探る。
◎二ーズはビジネスホテルと温泉旅館では違う。競合しないので要望したい。



◎国道348号国交省の雨量計データの活用は。

◎総合防災課長 来年7月からインターネットで活用できる。白鷹町貝生地区の雨量計データも参考になる。
◎来年7月では遅い。もっと早く要望する。
◎赤湯中学校グラウンドの水はけが悪い。整備計画は。

◎管理課長 暗渠の目詰まりで抜本的な工事になる。吉野川改修の湯河原橋架け替え後に計画したい。

◎土手の桜の伐採は。どれだけ残るのか。

◎建設課長 赤湯中の橋側の1本と赤湯ふたば保育園側の10本が伐採予定。
◎バイオマスチップ工場のチップの需要はあるか。

◎商工観光課長 具体化はこれからだ。

◎関連 田中貞一 議員

◎業者及び立地場所は。◎商工観光課長 ㈱ウイルで荻地区。

山口 正雄 議員

◎倒木、雪害木処理の進捗状況は。

◎農林課長 倒木処理は7月10日に3箇所ので実施済み。雪害木処理



向山球場観客席

は森林組合に大きな単位でまとめたい。

◎29年度南東北インターハイソフトボールの準備はいかに。

◎社会教育課長 来年、県も入り実行委員会を立ち上げ準備する。

◎ソフトボールベンチの修理とは。

◎建設課長 A球場の観客席を修理する。

◎除雪時にグレーチングが重くて持ち上げられない。

◎建設課長 切ることは可能だが、危険もある。現地を確認する。

◎旧糺医師住宅跡地は、糺町全体の雪捨て場として十分か。

◎建設課長 平年だと間に合うと思う。多くなれば排雪をする。

川合 猛 議員

◎吉野川河川改修に伴う二色根公民館の移転日程を早く周知を。

◎建設課長 9月18日えくぼプラザで置賜総合支庁の説明会で説明される。

◎烏帽子山公園のアスファルト道路が傷んでいる。対応は。

◎建設課長 幅3m、延長200mあり、工事対応が必要。今年度は応急処置とし、来年度予算で対応したい。

◎妹背橋を後世に伝えるためにも、モニメントの要望があるが。

◎建設課長 県に要望する。



とりこわされる妹背橋

の環境として整備する計画を。

◎市長 多額の篤志は気持ちの現れ。ふるさとづくり研究会と話し合いお手伝いをしたい。
◎ヘリポートの1つは専用として常に空けるべきだ。

◎総合防災課長 来年度に向けて検討する。

佐藤 明 議員

◎文化会館北側道路の整備は。

◎建設課長 南側道路と若狭郷屋2号は完成。北側は来年度整備する。

◎就学援助要保護、準保護家庭には入学前に給付できないか。

◎教育長 前向きに検討する。

◎介護報酬引き下げの本市施設の影響は。

◎福祉課長 厳しいと伺っている。

◎利用料引き上げの影響

響は。対象者は。

〈福祉課長〉 65才以上で個人負担が10%から20%になった方は77名。

また、食費、部屋代は低所得者の負担軽減がある。資産要件で4名、配偶者要件で4名が対象。

◎職員不足、待遇改善の本市の実態は。

〈市長〉 国は地方の実態を見て適切な措置をしてほしい。市も、情報収集に努めていく。

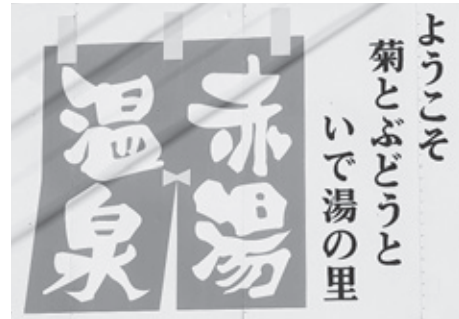
◎南陽市の目玉、何を売りにしていくのか何か手を打たないと。

〈市長〉 白竜湖を復元して観光誘客につなげていく思いは同じ。「菊とぶどう」といって湯の里「地方創生と合わせてみなさんといっしょに知恵をしばっていく。」

◎アクションを起こすには市長の力は大い。腹を据えて取り組みを。

〈市長〉 市制施行50年

を再来年に控え、従来
の環境と違う中で関係
者の皆さんと直接話し
合っていききたい。



菊とぶどうといで湯の里の看板

白鳥 雅巳 議員

◎防災士の果たす役割
は大きい。増やしてい
くべきではないか。

〈総合防災課長〉 現在
38名いるが殆ど消防関
係者。今後自主防災会
にも増やしていく。

〈市長〉 出来るだけ多
い方がよい。近隣市町
を見ながら考えていく。

◎自主防災組織推進事
業費25万円の内容は。

〈総合防災課長〉 1団
体5万円で、既存組織
での初めての訓練や未
組織地区での設立に向
けて行う訓練に補助し
ていく。

高橋 一郎 議員

◎非常勤嘱託職員の
ボーナスはいつまで支
給していたか。

〈総務課長〉 平成18年
に廃止した。当時は1ヶ
月分を支給していた。

◎県内で支給している
市町村もある。臨時職
員を含め、条例制定を
して改善を。

〈総務課長〉 調査をし
て、検討していく。

◎育児休業中の保育園
入所はできない制度だ
が市として支援策は。

〈すこやか子育て課長〉
現制度ではできない。
他市町の情報収集し、
国へ要望していく。

◎通りの名称を菊と平

和通り、ワインと愛の
通り、橋名も幸来橋の
ようなネーミングに工
夫を凝らしては。

〈市長〉 その地区の

考えが第一だが、アイ
デアは面白い。

◎エリアメール(9月
11日午前1時頃があり、
その後取消しがあつた。
どういうわけか。

〈総合防災課長〉 全国
瞬時警報システムを活
用している。今後、本市
に関係あるもののみ発
信するよう見直したい。



◎オーダーメイド避難
についての考えは。

〈総合防災課長〉 避難
準備情報から避難指示
へ進む中で、避難所開
設情報を流す。また、
日頃から各地区の一時

避難所や夜間の垂直避
難など発信していく。
◎沖縄県糸満市と中学
生が交流するにあたり
考えは。

〈学校教育課長〉 第5
次教育振興計画に基づ
いて①愛郷心の醸成。
未来を担う自立した人
材育成。②主体的に考
え行動するを目的とし
て実施したい。

◎「平和」の文字がな
いのは不自然では。

〈学校教育課長〉 教育
委員会事業として、第
5次教育振興計画に
則って考えている。

〈教育長〉 悲惨な戦場
体験や生々しい話を聞
く中で、平和を感じ取っ
ていくことも狙ってい
る。今後、目的を膨ら
ませ対応していきたい。

◎当局はもっと単純に
考えてもいいのでは。

〈市長〉 まずは中学生
が行って、何を感じる

か「簡単に、単純に考
えて頂きたい。

◎他市町のマラソン大
会は特色がある。さわ
やかマラソンは来年以
降どう考えるのか。

〈市長〉 体育協会や参
加者から意見を聞き、
参加者が増えるよう
ものになりたい。

◎沿道の応援手配は。

〈社会教育課長〉 手配
はしていない。PRし
ているので応援も見込
まれるのでは。

◎積極的に声をかけて
いくことが大事では。

〈市長〉 市と教育委員
会で協議し、できる事
をしていきたい。

◎湯河原源泉から最終
的に元湯まで送るのか。
PRの仕方、工期は。

〈財政課長〉 えぼし湯
から、元湯までは整備
済。PRは機会利用し
て行う。工期は、でき
るだけ早い時期。

決算特別委員会

高橋 一郎 議員

◎市税収入未済額の対策は。

〈税務課長〉現在1億7200万円まで減らすことができた。分納相談には応じている。

◎滞納処分状況は。

〈税務課長〉主に固定資産と債権の差し押さえを行っている。

◎入湯税はどうか。

〈税務課長〉分納しているが、まだ若干残っている。

◎特別会計への繰出し8億3千万円は適正か。他の市町村はどうなっているのか。

〈すこやか子育て課長〉法定繰り出し金であるので、他の市町村はわからない。

◎基盤安定化分は。

〈すこやか子育て課長〉それぞれの、市町村で出している。また高額医療費は30万円超える分を県から拠出金として出している。

◎介護保険も同じか。

〈福祉課長〉介護給付は各自自治体とも変わらないと思うが、人件費などの費用は各自自治体毎違い一概に言えない。

◎医療費の削減を全庁あげて対応すべきと思うがどうか。

〈市長〉高齢化により医療費が増大している。実効性のある対策を庁内で検討する。

◎文化会館の太陽光発電で電気料はどの程度カバーしているか。また、バイオマスの効果は。

〈文化会館主幹〉バラツキはあるが、事務所で使う200キロワットは確保できる。バイオマスは真夏でも数回しか使わずに済んだ。



文化会館 太陽光発電

◎青少年インターナショナル事業は今年度ないのはなぜか。国際感覚を身につけることは大切だ。

〈市長〉今年度は別のプログラムで国内に向けて研修を行う。

◎水道料金を下げたが、今後の見通しは。

〈上下水道課長〉剰余金は災害復旧や返済積

立金にまわす。昨年度見直しを行った現行の料金で行う。

山口 正雄 議員

◎資源ごみの売却額減少の原因は。また、これを原資とする元氣の出るまちづくり交付金は今後どうなるのか。

〈市民課長〉単価の違いによる減少。まちづくりに総額500万円交付しているが、今後も継続していきたい。

◎緊急通報システムの普及数は。

〈福祉課長〉114人である。現在は押ボタン式で、委託した警備会社に通報する。今後センサー式も検討する。



緊急通報システム

◎持家住宅補助160件、子育て応援交付金7件、合計約2800万円支出している。経済効果額は。また、市外からの転入者数は。

〈建設課長〉経済効果は約10億円。市外からの転入者は11人。

松山 利美 議員

◎六次産業化事業の取り組みは。

〈農林課長〉六次産業地産地消認定に4件あるが、加工品は進んでいない。ネットワークも含め検討する。

板垣 致江子 議員

◎ハイジアパークの盗難事件とロッカーの改修について

〈市長〉盗難事件は残念である。ぜひロッカーを使用してほしい。改修後、使い勝手は、良いと聞いている。

◎文化会館使用料の減免について

〈文化会館主幹〉置賜文化フォーラムは減免対象になっている。

川合 猛 議員

◎文化会館の稼働率は6割いくと言っていたが、年間通してクリアできるのか。

〈文化会館主幹〉全館使用してのもので、年間8万人と見込んでいる。

◎2日に1回、3日に1回の利用を目指してほしい。

田中 貞一 議員

◎温泉使用料の未済額41万6000円は何か所分か。また、公表できるか。

〈財政課長〉2軒未済があるが、公表できない。

答 弁 要 旨

白竜湖環境整備を急げ 建設技能者の育成と公契約条例 の制定を望む！

片平 志朗 議員



◎白竜湖の環境整備が遅れている。市の環境保全計画は。

〈市長〉白竜湖は昭和30年に泥炭形成植物群落として県指定文化財の天然記念物となり、学術的に貴重なものとなっていることから、制限もあり環境保全の取り組みが難しい状況にあった。

今年3月に「未来に伝える山形の宝」制度に登録をされた。今後は平成9年以来実施していない植生・水質等の調査を実施し、どのような環境保全をしていくか検討する。



全面にひしが生い茂る白竜湖

◎本市の建設業就労者の推移は。技能習得者の支援策は。

〈市長〉建設業従事者は平成12年で1886名、平成22年で1255名であり、10年間で33%減少している。10～20代の労働者は20%から12%に減少。若年層の人材育成が喫緊の課題だ。県では「建設産業 若年従事者支援事業」で担い手の確保・育成に取組み「入職促進に向けた事業」を実施している。引き続き県が実施する事業の利用状況を参考に、その実施に努める。

公契約条例については、請負者の同意や賃金の最低基準の設定など課題も多い。県の情報や助言、近隣市町村の動向を注視しながら、引き続き検討していく。

消防団にハード・ソフト面での装備拡充を 文化会館の利用者に対する赤湯温泉への宿泊案内は

高橋 一司 議員



◎軽積載車に関する報酬の見直しについて。水害、山火事等、出動回数も増えている。早急の改善を。

〈市長〉現在の報酬区分は、積載車が自動車部に区分、軽積載車は各分団内を出動範囲の区分としている。車両等の適正配置も含め検討する。

◎雨合羽の支給は。

〈市長〉他の必要装備も含め計画的に、整備していく。

◎軽量ポンプ及び軽トラクの導入はどうか。

〈市長〉軽量ポンプは地域実情に合わせ導入を検討する。軽トラクは、今年度4分団に配備予定。

◎文化会館利用者に対して、赤湯温泉に宿泊の案内はされているのか。チケットと宿泊券の組み合わせなど、旅

館協同組合と協議はしているのか。市長の考えは。

〈市長〉出演者、興行スタッフの宿泊は赤湯温泉を紹介。食事時間、部屋数の確保等は協議し、予約も入っている。また、視察者や観劇の方々には宿泊の際、各種サービスもされている。文化会館及び旅館協同組合のホームページ等を通して宿泊商品を提供していく。

◎昼食の案内と飲食マップについて。

〈市長〉これまで視察者は、6300名を超えており、今後多くなると考えられることから、昼食等を市内でお取りいただく様勧めしている。インターネットの活用も含め、関係機関と協議のうえ、マップの整備を検討する。



山口 正雄 議員

高齢者等の間口除雪の実施は 向山ソフト球場の整備は

- ◎延長距離1km当たり除雪費は近隣市町で最低。距離が殆んど同じ長井市の半分以下の除雪費だ。どう思うか。
- 〈建設課長〉一概に比較できないが、排雪回数が違うのか調査したい。
- ◎もっと排雪に力を入れるべきではないか。
- 〈市長〉現状を把握してより良い除雪になるよう工夫したい。
- ◎高齢者等の方々が待ち望んでいる「高齢者にやさしい除雪」をどう実施するのか。
- 〈市長〉今年度は、モデル地区を選定し実施していく。路線除雪でも「押雪軽減」や主要幹線、交差点、狭隘な通学路の拡幅、排雪を強化し、交差点の見通し改善、渋滞緩和、歩行者の安全確保に向けて万全な体制を目指していく。
- ◎間口除雪は、来年度市全体に拡大していくのか。
- 〈市長〉今年度の状況を見て改善していきたい。
- ◎出来るだけ早く実施して頂きたい。
- ◎再来年のインターハイに向けて向山ソフト球場の整備は。
- 〈市長〉B球場トイレは総合的に検討する。駐車場のラインは引き直す。グラウンド関係は状況確認と経費積算中で適切に精査していく。
- ◎ソフト球場は第47回国体以来何もしてこない23年のツケが一気にきた形だ。財政的な問題があるとするば、年次計画に織り込んで整備をして頂きたいと思うがどうか。
- 〈社会教育課長〉整備できるよう、市長部局と調整して参りたい。



高橋 一郎 議員

菊とぶとうは平和と愛の花言葉 嘱託職員等の待遇改善をすべし

- ◎花言葉で菊は平和、ぶどう・ワインは愛と陶酔を表す。「菊と平和のカーニバル」や「ぶどうとワインと愛の祭典」、「平和と愛と癒しの里」、「縁結び希望と愛とアーモンド」などのキャッチコピーを用いてのPRはどうか。
- 〈市長〉本市が誇る代表的なイベントをグランドアップする手段として、それぞれの花言葉を用いるという発想は、非常に斬新なアイデア。これまで先人が築いてこられた思いの蓄積とイベントの本質を大事にしながら平和や愛も含めて多角的に研究していく。
- ◎赤湯駅と十分一山と文化会館に平和と愛の鐘（仮称）を設置し、行き交う人や観光客に鐘をならしてもらうと共に、赤湯駅では定時に平和と愛に関する曲、たとえば「ないしょ話」を流すのはどうか。
- 〈市長〉その鐘を設置するには市民の方々の納得がある。観光客が聞いて感動や関心したりするストーリーが必要。設置の目的も含め検討する。なお、赤湯駅でのおもてなしとして音楽を流すことは観光協会に実現にむけて検討してもらう。
- ◎子育てするなら南陽市と言うなら正職員と同じ仕事をしている嘱託職員や臨時職員の待遇改善を求める。せめて、一時金の支給を。
- 〈市長〉職員の給料月額の改定や山形県の最低賃金が2年連続で増額されていることも踏まえ検討する。一時金ボーナスは近隣自治体の状況を調査し、支給の是非を研究する。

災害時応援協定締結は 有害鳥獣被害対策は

白鳥 雅巳 議員



◎新潟県燕市との災害時応援協定締結を機に今後の交流計画は。

〈市長〉市民レベルの交流から始まり、産業や観光分野で相互交流をしている。本市の2年連続の豪雨災害を経験したことも含め、協定締結を契機として今後の交流発展につとめていく。

◎他市との友好姉妹都市締結の模索は。

〈市長〉安全・安心の観点から、複数の自治体と将来的に協定を目標としていく。

◎児童生徒の修学旅行に体験学習的な要素を含めた計画の実施を。

〈教育長〉修学旅行に体験学習的な要素を含めることは、大変意義があると考えている。様々な体験学習を取り入れ、事前の学習や事後のまとめの学習も工

夫した指導をしていく。
◎有害鳥獣被害の現状と対応は。

〈市長〉被害状況は毎年「南陽市果樹振興協議会」が中心となり、農業協同組合を通じ、農家に対して被害調査を行い、被害金額、被害量、被害面積を把握している。被害対策としては、赤湯猟友会と事業委託契約をし、駆除活動を行っている。
◎狩猟免許取得に係る負担軽減措置は。

〈市長〉新規取得を確保するため、25年度から狩猟免許取得等補助金制度をとっており、また、26年度からは、免許更新費用にも補助制度を拡充している。今後補助制度の拡充や内容について、猟友会と話し合いながら連携して進めていく。

幸福な市民生活をおくれる 政策を求めて

田中 貞一 議員



◎今冬の徐排雪計画の目玉（白岩カラー）はあるか。

〈市長〉間口除雪の検討を進めていく。また、交差点や狭隘な通学路等の拡幅、運搬排雪を強化する。

◎福祉施設の待機者解消対策は。

〈市長〉現在、特養待機者は182人。今後、29人の小規模特養施設と18人定員の認知症対応グループホームを2ヶ所整備し、地域包括ケアシステムの構築を推進する。

◎地場産業振興のため、インターネット活用 of 庁内検討結果はどうか。

〈市長〉既に個人で取組んでいる方の情報を収集するため、サイトの構築を早期に立ち上げる準備を進める。
◎農業用ハウスの補助制度の検討結果は。

〈市長〉市補助金のかさ上げは支援事業で一部実施している。更新補助は莫大な金額が必要となるため、引き続き県に要望していく。

◎デマンド方式タクシー、または、バスの検討状況は。

〈市長〉デマンド運営には母体となる組織が必要だ。地域で話し合う中で引き続き検討していく。

◎沖郷丸堤の現状確認と対応策の検討は。

〈市長〉現在「水と環境を愛する会」の協力のもと管理している。ひしが多く繁殖しており、対応策は検討課題だ。沖郷ふるさとづくり推進会議が中心となり、施設利用や整備方針について、役割分担しながら水辺空間の整備を進めていく。
◎その他農業政策全般



沖郷丸堤のひし



佐藤 明議員

「子育て支援」するなら 学校給食の無料化を！

◎市長就任以来一年余、今後の市政運営は。

〈市長〉災害からの復旧・復興はスピード感を持って取り組んでいく。子育て支援は4月から第3子以降の保育料を無料。更に、10月から医療費無料化を中学生まで広げていく。

◎本市は「子育て支援都市宣言」を全国に先駆けて宣言している。宣言しているならもっと拡充すべきでは。例えば学校給食費の無料化等の考えは。

〈市長〉人口減少対策として第3子に対してできるように環境づくりをしていきたい。

◎南陽市の「子育て支援策」は日本一だという、県内外へのアピールとして、今年度は1年生、来年度は2年生のように、学校給食費を無料化すべきでは。

〈市長〉大変良い提案と思う。今後検討していきたい。

◎「市みらい戦略アドバイザー」の助言は。

〈市長〉メールで2回ほど相談している。

◎メールだけでなく関係課長も出席しながら、具体的に市の施策を考えるべきでは。

〈市長〉現在依頼中。今後も総合戦略等についていろいろとアドバイスを頂く。

◎人口増の問題、若者定住に向けては、企業誘致事業が最大の課題と考えるが、見通しは。

〈市長〉企業誘致に全力で取り組んでいく。

◎首長は市のトップセールスマンだ。1週間でも2週間でも泊まり込みで誘致する気概を持つべきでは。

〈市長〉庁内で議論しながら対応していく。

27年第2回 臨時会 7月10日 Q & A

防災行政無線(同報系)施設設備工事

佐藤 明議員

◎4億円の予算が半分以下になった理由は。

〈総合防災課長〉仕様に予算積算と同等品で可としたことで5社が競った結果と考える。

◎何か所に設置か。

〈総合防災課長〉鉄塔は市内71箇所。

◎余った予算は。

〈市長〉残す。

〈財政課長〉財源は緊急防災事業債で起債を抑制できる。



防災行政無線イメージ

関連 高橋 一郎議員

◎性能は問題ないか。いつ頃現場に入るか。

〈総合防災課長〉問題はない。工場で製造し現場で組み立てる。製造に2カ月かかる。

◎地区長、消防団等との協議は。

〈総合防災課長〉ていねいに協議して進める。

文化会館 移動観覧席

高橋 一郎議員

◎移動は何パターンでできるのか。

〈文化会館主幹〉12段195席で1段ずつ引き出せる。全体を前にも移動できる。

◎操作は一般職員ができるか。法の規制は。

〈文化会館主幹〉使用に法規制はない。安全を確認し職員が操作する。

議会報告

置賜広域病院組合議会

8月10日、臨時会を南陽市議会議場で開催。

飯豊町議会改選で議員3名が選任された。

また、飯豊町議会の菅野富士雄議員が監査委員に選任された。

9月定例会議案に対する議員の賛否表 (賛否が分かれたもの)

議席番号 氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	15	16	17
議案	高橋 一司	高橋 一郎	船山 利美	山口 正雄	白鳥 雅巳	片平 志朗	吉田 美枝	梅川 信治	川合 猛	高橋 弘	板垣致江子	高橋 篤	田中 貞一	佐藤 明	伊藤 俊美	殿岡 和郎
個人番号の条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

マイナンバー制度スタート 関係条例を制定

総務
常任委員会

9月7日、総務常任委員会を開催し、付託された議案3件を採択。

◆南陽市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の設定

番号法が10月5日に施行されることから個人番号の利用および提供について定めるもの。個人番号の利用は、福祉、保健、医療その他の社会保障、税、防災に係る事務においてのみ利用できるもの。

この条例の施行日は個人番号カードの利用が開始される来年の1月1日。委員からは個人情報の流出や責任の所在についての意見が出されたが、審査の結果賛成多数で可決した。

◆南陽市個人情報保護条例の一部を改正

番号法で活用する個人情報報を「特定個人情報」とされているため、本条例に個人情報報を加え、適正な管理等を定めるもの。

◆南陽市赤湯財産区温泉条例の一部を改正

内湯旅館営業者「旅館大和屋」より、温泉受給者の名義変更が提出された事に伴い、代表者を変更するもの。また、平成25年6月議会で議決された内湯旅館営業と公共施設間で温泉受給権の譲渡に基づいた供給湯量小計の変更をしなかったため、今回変更するもの。前記の付託2件については全員異議なく可決した。



行政視察レポート

ユニークな課名で

婚活事業を展開

7月6日～8日富山県南砺市と石川県輪島市を視察した。

南砺市では、婚活支援、定住・移住及び空家対策事業の取り組みについて研修した。

従来複数の課で行っていた事業を一本化し、市長肝いり政策として、課の名称を「南砺で暮らしません課」としたとのこと。結婚支援事業の一つで結婚倶楽部会員373名で出合いの場の提供として、セミナーを開催している。

もう一つが結婚応援団「なんとおせっかい」と称する会員114名の仲人がいて、成婚させた場合は成功報奨金を支払う仕組みとなっており、現在まで48組が成立して

いるとのこと。婚活関連事業費予算は一千万円を計上している。

定住、空家対策事業では、定住奨励金や山間地など地域ごとに助成金を決めていたり、リフォーム助成金など、単発でなく切れ目のない助成制度を設けている。空家バンク登録により利用者への助成金や移住者には、体験ハウスも準備しているとのこと。

防災士育成に力を注ぐ輪島市

注ぐ輪島市

輪島市では防災組織及び防災士の育成について研修した。平成19年3月の能登半島地震の教訓から市民意識が高まり、災害に強いまちづくりの政策を打ち出し地域防災力の強化を図るため、防災士を育成している。単独事業で資格取得や研修費を助成している。

今回の視察では、南陽市でも参考にすべき事項が多く、是非、参考にしたい。

(委員長 白鳥 雅巳)



南砺市での研修



輪島市での研修

通知カード・個人番号カードは大切に！ 再交付手数料がかかります

文教厚生 常任委員会

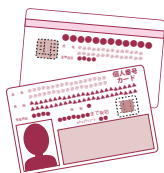
◆手数料条例の一部 改正を可決

10月5日のマイナンバー制度施行に伴い、通知カードが交付。

また、来年1月1日より希望者には個人番号カードが交付される。

両カードとも紛失等による再交付の場合、通知カード500円、個人番号カード800円の再交付手数料がかかる。

通知カードは、世帯ごとに簡易書留で郵送となるが、不在の場合は3カ月間市で保管し、本人確認後お渡しする。長期間、医療機関等に入院、入所されている方には居所登録申請をお勧め。住所以外で居所で受け取ることができる。審査の結果全員意義なく可決した。



行政視察レポート

期日：7月1日～3日

◆那覇市安謝福祉 あじや 複合施設

世代間・施設間・地域間交流が日常的に

少子高齢社会に向けて地域と福祉が一体となった総合的な施設で、日本赤十字社沖縄県支部が平成10年の開所時より那覇市から管理を受託し運営している。

特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンター等の施設を始め、24時間監視体制の高齢者住宅、保育園、児童館、市営住宅等も同敷地内に設置されている。世代間、施設間、地域間交流が日常的になされ、住民の安全・安心な暮らしが守られている。



併設されている安謝保育園



那覇市での研修

◆沖縄県糸満市

平和の尊さを

次世代へ

糸満市は沖縄本島最南端に位置する第二次世界大戦沖縄戦終焉の地。美しい海岸線を一望できる摩文仁の丘は平和記念公園として、

恒久平和を願い国籍や軍民の区別なく沖縄戦の全戦没者の氏名が刻まれている平和の礎や、沖縄戦の教訓を継承する資料館等が設立されている。

今年は戦後70年節目の年。そして安全保障関連法案が国民を大きく揺るがしている今、平和都市宣言をしている本市の子ども達を沖縄に派遣したい。

戦争の悲惨さや平和の尊さを自分の目と耳と心で感じ取る体験型学習の機会を与えてやることはできないものか、糸満市議会側に交渉を願う。

先に、糸満市議会の議長を含む総務委員会が南陽市へ行政視察に訪れたこともあり、温かい善意の対応で受け入れ協力を約束していただいた。



糸満市での研修

今後、当委員会として、当局に子どもたち同志の交流を交えた沖縄派遣を積極的に働きかけていきたい。
(委員長 吉田 美枝)

○その後、9月定例会に地域間交流事業として200万円の補正予算が組まれた。

来年の1月中旬に中学生12名が糸満市へ派遣されることになる。

土平飲料水供給施設(竹原地区)を廃止 待望の上水道に切り替え

産業建設 常任委員会

付託された議案は1件、請願は1件。去る9月11日常任委員会を開催し審査した。

◆南陽市飲料水供給施設条例を廃止する条例

竹原地内にある土平飲料水供給施設の老朽化が著しく、施設を廃止し、本条例も廃止するもの。

当局からは、施設の老朽化が顕著であり、水源も沢水から取水しており、近年の集中豪雨のたびに、取水口や浄化施設への土砂堆積が頻繁に起きるなど、水道水の安定供給が危ぶまれている状況にある。そのため施設を廃止し、上水道に接続を行い、安定供給を図るとの説明を受け、全員異議無く可決した。

◆TTP交渉にかかると国会決議の実現に関する意見書提出の請願



廃止される土平水道施設



実りの秋、収穫前の田んぼ

交渉に関する国会決議を必ず実現するように政府に対して、意見書の提出を求めるもの。審査の結果、願意妥当と認め全員異議なく採択した。南陽市議会ではTTPに関する同種の請願を過去に6回採択している。

行政視察レポート

◆間口除雪の取り組み 除雪はハードからソフトまで（美唄市）

平成13年に間口除雪条例を制定。70才以上の高齢者や障がい者の方で、自力で道路除雪後の残雪処理ができない方が対象。雪を押す場所が確保出来ることが条件となり、申請書にて申し込みを行う。負担金制度で市民税課税世帯が一冬24000円。非課税世帯が12000円。生活保護世帯が無料としている。道路除雪は都市整備課、間口除雪は高齢者福祉課が担当している。利用者からは大変助かっている、ありがたいたの感謝の言葉を多くいただいているとのこと。



登別市での研修

◆観光振興の取り組みについて（登別市）
登別温泉を中心として年間350万人の観光客が来る。その内36万人が外国人。2016年北海道新幹線の開業予定となっており、更なる誘客に意欲を燃やしている。



美唄市での研修

◆「マッサン」効果絶大 ニッカウヰスキー蒸留所（余市町）

NHKテレビの朝ドラマで放送された「マッサン」による効果はすさまじく、観光客数は38万人の増加。

余市町には約30億円の経済効果があった。一時低迷していたウ

イスキーの人氣も今やうなぎ上り。名柄によつては品切れもあるとのこと。地域資源を効果的に活かす努力を見習いたい。

（委員長 川合 猛）



観光客で賑わうニッカウヰスキー蒸留所

議員としゃべっぺの報告

第2弾

地域の課題解決に市民の声を！

去る8月19日～21日に「議員としゃべっぺ」(市民との意見交換会を開催しました。9月定例会前に市民の意見や要望を市政に反映させることを目的に、今回は3つの常任委員会ごとにテーマをきめて意見を交換しました。そのうち主な意見をご紹介します。なお、これらの意見は予算特別委員会で質疑しておりますので、詳しくは4～6頁をご覧ください。

市民の意見

- 街中観光見歩き点検
ワークシヨップを行い、観光客に対して不備な点が多くあり、早急に改善を。(案内看板・危険箇所・点字ブロック・外国人用看板・トイレ等)
- 観光協会は財政基盤が弱いので、政策的支援を。
- 議会にも「南陽市観光推進議員連盟」の結成を。
- 烏帽子山の桜を毎年綺麗に咲かせることができるものか。
- 千本桜保存会に、
- もつと若い人が入ってほしい。
- 河川工事でかかる赤湯中学校の桜を保存できないか。
- 赤湯駅前広場の拡幅はなるのか。
- 赤湯駅から文化会館の案内板等のアップローチがない。
- 赤湯駅前商店街の街路灯の電気料金を軽減できないか。
- 赤湯駅前にぶどう棚等を作り、市の年間果樹のPRが必要ではないか。
- 桜をテーマにした市民目線のプロジェクト



意見交換会の様子

- トを立ち上げたらどうか。
- 赤湯中学校グラウンドの水はけが悪い。早急の対策を。
- 烏帽子山公園遊歩道のアスファルトが痛んでいるので補修してほしい。
- 赤湯駅に物品納入時、大変混み合うので対策を考えてほしい。
- 吉野川の河川改修工事で取水口が二色根公民館に掛かる話があるかどうか。

議員から意見

◎烏帽子山の桜について

議会でも様々、意見も出されているが、抜本的な解決に至っていない現状。これからの樹木医や専門家の意見を聞きながら調査研究を進めていかなくてはならない。ウソ対策には、旅館、飲食店関係者、地区住民の協力が不可欠。(硫黄合剤・空砲・ダミー声等)

◎街路灯の電気代節減について

LED照明に交換するなど電気代の少ないものもある。また、その補助制度もあるので地域で研究してほしい。

◎観光振興について

観光全般でもっと詳細なデータを取る必要があるのでは。例えば



意見交換会の様子

どこからの客が多いのか、交通手段は何か、目的は何か、この後どこにいくのか等。データしだいどこにお金をかけるのか、プレゼンする方法がわかってくるのではないかな。

また、今後外国人観光客が増えることが予想されるので、旅館の従業員等、その関係者で外国語の勉強会などしたらどうか。

市議会議員との

親善ソフトボール

赤湯中学校ソフトボール部 主将 岩山 愛加



8-2 赤中勝利

8月6日、向山球場で議員の方々と親善試合を行いました。三年生が引退して新チームになったばかりで不安でしたが、議員のみなさんの力あふれるプレーに圧倒されながらも、楽しく試合ができて良かったです。暑い中、私たちのために手を抜かずに全力で戦っていただいたこと

がとても嬉しかったです。貴重な機会をいただき、ありがとうございます。

私たち赤湯中学校ソフトボール部は「県大会優勝」を目標に掲げ、日々の練習を頑張っています。昨年・一昨年と水害があり、グラウンドが使えなくなりました。時期もありました。そんなとき、地域や市民の方々からたくさんのご支援をいただき、今ではグラウンドでのびのびと練習することができています。自分たちのグラウンドで練習できるという感謝の気持ちを忘れずに、一日一日を大切に全力で練習していきます。

山形県市議会議長会

議員研修レポート

災害時の議員の役割に思う



講師の渡辺 実氏

8月7日、ビックウイングで議員研修会が開催された。講師は防災・危機管理ジャーナリストの渡辺実氏。日本の自然災害被災地や大事故の現場に足を運び、報道活動・原因究明・防災啓蒙活動などで活躍されている。

- ◆ マスコミ報道に無い震災の悲惨さを感じ、背筋が凍りついた。それから災害時の議員の役割として、次のような心構えが必要とのこと。
- ◆ 死んではならない。
- ◆ 一人ひとりの防災・減災・備災のノウハウを養う。
- ◆ 市民への啓蒙活動。
- ◆ 被災状況と被災者のニーズの把握。
- ◆ 被災者支援と心のケア活動。
- ◆ 災害を検証し防災計画に反映させる。

この研修会を通して、災害時の議員・議会の役割を痛感。また、議会BCP（緊急時事業継続計画）の必要性を感じた。（片平 志朗）

置賜3市議員交流会

8月17日、長井のタスパークホテルを会場に、明治大学講師で全国市議会議長会参事の廣瀬和彦氏を迎え、3市議員研修が行われた。今回は米沢・長井市議会が改選で、新人議員が多いなどから、テーマは「地方議会と議員の基本事項」で、改めて確認できた研修会だった。（板垣致江子）

表紙の写真

梨郷神社祭礼が9月12・13日に行われた。伝統の「獅子冠り」は、地元では無類の暴れ獅子として知られている。同地区は4地区に区分されており、4年に一度厄払いの獅子として巡ってくる。青年団を中心とした地区の若衆は、最後は泥だらけで神社に上がり、無病息災・五穀豊穡を祈願している。（船山 利美）

編集後記

またもや関東・東北豪雨、当地は奥羽山系に守られ、3年続けたの豪雨は避けてくれたようです。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。実りの秋を何事もなく迎えられることに感謝。待望の文化会館がグランドオープンし、宝

委員 長 高橋 一郎
副委員長 船山 利美
委員 高橋 一司
山口 正雄
片平 志朗
板垣致江子

